



皆様へ 第102期報告書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

DAIDOH
FOR HIGHER QUALITY IN LIFE

株式会社ダイドーリミテッド

<https://www.daidoh-limited.com/>

証券コード 3205

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当連結会計年度は、定時株主総会の対応に関して一過性の費用支出などが生じたことなどにより当初の計画には届かなかったものの、前期比で営業損失を大きく減少させる結果となりました。

当社グループは2024年6月に発足した新経営体制のもと、2027年3月期に至る3ヵ年の中期経営計画「革新と進化」の推進に取り組んでおります。事業環境は依然として先行き不透明な状況ではございますが、引き続きグループ一丸となって「革新と進化」を実現することで業績の改善を推し進め、さらなる企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましても、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます



代表取締役社長執行役員グループCOO 成瀬 功一郎

当期の経営成績概況

当連結会計年度(2024年4月1日～2025年3月31日)におけるわが国経済は、企業業績の回復や雇用・所得環境の改善などにより緩やかな回復傾向が見られました。一方で、中国経済の先行き懸念や不安定な国際情勢に伴う資源価格の高騰などにより依然として先行き不透明な状況が続いております。

衣料品業界におきましては、旺盛なインバウンド需要に支えられておおむね堅調に推移しておりましたが、10月から11月前半まで平年より気温が高く推移したことによって秋冬衣料の動き出しが遅れるなどの厳しい状況もみられました。

衣料事業においては、国内小売部門の「ブルックス ブラザーズ」が日本市場用の商品開発やコラボレーション企画の効果などによって前期比で大きく増収増益となった一方で、「ニューヨーカー」は、秋口の気温の高止まりが定価販売の減少をまねき、前期比で利益を減少させる結果となりました。

中国小売部門については、中国経済の先行き懸念により個人消費が低迷したことで損失が拡大いたしましたが、2025年1月に全出資持分の譲渡を完了いたしました。

また、イタリアの衣料原料製造子会社「ポンテトルト」では、コロナ禍からの回復期に生じた取引先の受注前倒しの反動によって前期比で売上高および利益が減少し、固定資産減損損失を特別損失として計上する結果となりました。

不動産賃貸事業においては、小田原の商業施設「ダイナシティ」では、新館「ウエスト アネックス」がオープンしたことによる賃料収入の増加に加えて、新館オープンによる来館客数増加の効果がダイナシティ全体に波及し、前期比で増収増益となりました。

オフィスビル等の賃貸については、2023年3月の本社ビル売却にともなう保有資産の組み換えが、前期中に一時的に完了したことで年間を通して賃料収入が発生し、前期比で大幅な増収増益となりました。

また、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用において、2024年6月に開催いたしました定時株主総会における特別対策費用(主にアクティビスト対応にかかる費用)135百万円を販売費及び一般管理費として計上いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の業績につきましては、売上高は28,609百万円(前期比0.3%減)、営業損失は64百万円(前期は営業損失442百万円)、経常損失は233百万円(前期は経常損失336百万円)、特別損失として減損損失2,927百万円などを計上した結果、親会社株主に帰属する当期純損失は2,483百万円(前期は親会社株主に帰属する当期純利益291百万円)となりました。

中期経営計画への取り組み状況

当社は現在、2027年3月期に至る3ヵ年の中期経営計画「革新と進化」を推進しております。2025年3月期は中期経営計画の1年目として負の遺産の整理に取り組んでおり、具体的には非戦略事業として位置づけた中国小売部門の譲渡や非事業性資産の売却、不動産1物件の売却、「ポンテトルト」における固定資産減損損失の計上などを実施いたしました。

また、並行して各事業のビジネスモデルの進化にも取り組んでおり、注力事業のひとつに位置付けている「ブルックス ブラザーズ」におきましては、確実に改革の効果が創出はじめているものと考えております。

2026年3月期においては、負の遺産の整理を完了させるとともに2027年3月期に向けた各事業部門における改革をさらに推進してまいります。特に、有望市場に位置しているものの一時的に業績が低迷している「ポンテトルト」の構造改革は急務であり、一刻も早い業績回復を目指してまいります。

また、中期経営計画で掲げましたM&Aについては、2026年3月期中に実施することによって、2027年3月期の非連続的な成長に向けた準備を整えてまいります。

改革の成果は道半ばではございますが、2027年3月期の目標達成に向けて、引き続きグループ一丸となって取り組んでまいります。

＜株主還元の強化について＞

2024年7月4日に開示いたしました「株主還元に関する方針及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」のとおり、株主還元の強化を図ることがさらなる株主価値の向上に資すると判断し、中期経営計画期間中の株主還元に関する方針を当社取締役会の総意として決議しております。

- ① 2025年3月期から2027年3月期までの3年間においては、1株あたり年間100円の配当実施を基本方針とします。
- ② 株式市場からの最大50億円程度の自己株式を取得する方針とします。但し、自己株式の取得につきましては、当社株式価格の推移、財務状況などを勘案した上で、機動的に実施したいと考えております。詳細が確定し次第、速やかに開示いたします。

株主優待券につきましては、「NYオンライン」および「ブルックス ブラザーズ オンラインストア」でご利用いただける回数をそれぞれ6回に増やし、利用可能期間を約12ヵ月、年1回6月末の郵送に変更いたしました。

また、株主優待品につきましては、10月頃の発送予定となっております。

トピックス

Topics 1

衣料事業において、さまざまなコラボレーション企画を展開

当社衣料事業の小売部門において、他社とのコラボレーション企画を積極的に展開しております。ニューヨーカーでは、昨年のブランド60周年記念企画としてハワイのアロハシャツ「カハラ」や国内屈指の傘メーカーとのコラボレーションが好評だったことを受け、今年も第2弾として新商品を発売いたしました。また、ブルックス ブラザーズにおいては、スニーカーの「コンバース」を始め、有名キャラクターやその他デザイナーズブランド等とのコラボレーション企画を展開し、大変好評をいただいております。

今後も、さまざまな取り組みを推し進め、さらなるブランド認知の拡大と新規顧客の獲得に努めてまいります。

NEWYORKER

「ニューヨーカー」×「カハラ」



Topics 2

ダイナシティ・ウエスト、開業25周年アニバーサリーイヤーがスタート



ダイナシティ外観

Dynacity



ダイドーフォワードが運営する商業施設「ダイナシティ」(神奈川県・小田原市)のウエスト館は、2025年9月に開業25周年を迎えます。ダイナシティは、昨年4月の「ダイナシティ ウエスト アネックス」のオープン効果により来館客数が大きく増加いたしましたが、今年もアニバーサリーイヤーとして年間を通して各種イベントやキャンペーンを開催し、さらなる来館客数の増加を図ってまいります。

ダイナシティは、引き続き、地域密着・地域共生を図りながら魅力ある施設づくりを目指してまいります。



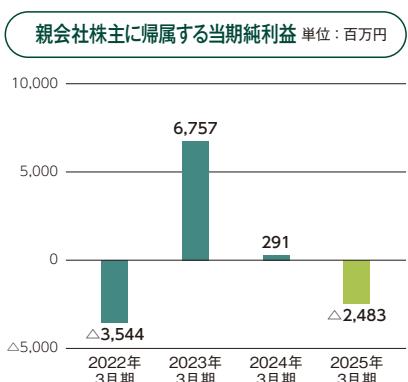
詳細はこちら

<https://www.dynacity.jp>

業績・財務ハイライト

(単位:百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
売上高	24,609	28,218	28,697	28,609
営業利益	△ 1,771	△ 481	△ 442	△ 64
経常利益	△ 1,615	△ 378	△ 336	△ 233
親会社株主に帰属する当期純利益	△ 3,544	6,757	291	△ 2,483
純資産	7,713	14,503	14,646	12,195
自己資本比率(%)	21.6	34.4	33.7	30.5



株式関連情報 (2025年3月31日現在)

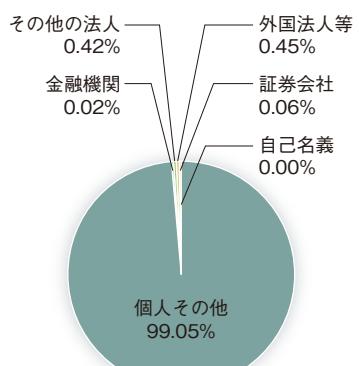
株式の状況

■ 発行可能株式総数	150,000,000株
■ 発行済株式の総数(自己株式を含む)	30,696,897株
■ 株主数	40,746名 (前期末 17,941名)
■ 大株主	

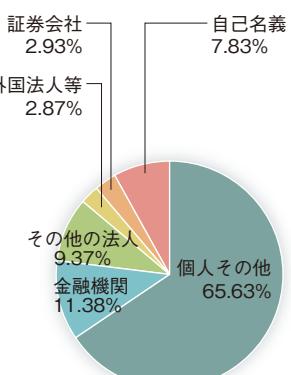
株主名	所有株式数(千株)
株式会社ソニー	1,595
三井住友海上火災保険株式会社	646
三井住友信託銀行株式会社	642
株式会社みずほ銀行	628
明治安田生命保険相互会社	465
野村證券株式会社(常任代理人株式会社三井住友銀行)	464
UBS AG LONDON A/C IPB SEGREGATED CLIENT ACCOUNT	368
野村證券株式会社	265

(注) 当社所有の自己株式(3,498,000株)は、上記大株主からは除外しております。

所有者別株主数分布



所有者別株式数分布



会社情報

(特に記載のない限り2025年3月31日現在の状況です。)

会社概要

■ 株式会社 ダイドーリミテッド

DAIDOH LIMITED

創業 1879年(明治12年)1月
設立 1949年(昭和24年)10月17日
資本金 100,000,000円

■ 取締役および監査役(2025年6月27日現在)

代表取締役会長グループCEO	山田 政弘
代表取締役社長執行役員グループCOO	成瀬 功一郎
取締役上席執行役員グループCFO	白子田 圭一
取締役執行役員	今井 和俊
社外取締役	久保木 大世
社外取締役	大澤 道雄
社外取締役	城戸 真亜子
監査役(常勤)	内藤 清和
社外監査役(弁護士)	武田 昌邦
社外監査役	鳴田 智子

■ 主な事業所

本社 東京都千代田区外神田三丁目1番16号

■ 従業員の状況

株式会社ダイドーリミテッド	29名
企業集団の合計	565名

■ 主な借入先

借入先	借入金残高
株式会社みずほ銀行	5,802百万円
三井住友信託銀行株式会社	3,000百万円
株式会社三井住友銀行	1,900百万円
株式会社横浜銀行	400百万円

株主メモ

事 業 年 度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定 時 株 主 総 会	毎年6月
基 準 日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 每年3月31日 中間配当 每年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
單 元 株 式 数	100株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株 主 名 簿 管 理 人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063
事 務 取 扱 場 所	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	0120-782-031(フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00(土日祝日および12/31~1/3を除く) https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/ https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal 当社ホームページに掲載する https://www.daidoh-limited.com/ ただし、事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、 日本経済新聞に掲載する方法により行う 東京証券取引所スタンダード市場 名古屋証券取引所プレミア市場
(電 話 照 会 先)	
(インターネットホームページURL)	
(よくあるご質問(FAQ))	
公 告 方 法	

上場証券取引所

■ 株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。
なお、お手続き方法やよくあるご質問は、上記「よくあるご質問(FAQ)」サイトでご確認いただけます。

■ 特別口座について

株券電子化前に「ほぶり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先にお願いいたします。



株式会社ダイドーリミテッド

経営管理室

〒101-8619

東京都千代田区外神田三丁目1番16号

TEL.03-3257-5022 FAX.03-3257-5051

NEWYORKER

Brooks Brothers

PONTETORTO

Atraer
BE RADIANT
WITH HOPE AND POSSIBILITY

SIPULI
along with natural beauty

Dynacity

